



(公財)水道技術研究センター
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1
虎ノ門電気ビル2F
TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215
E-mail jwrchot@jwrc-net.or.jp
URL <http://www.jwrc-net.or.jp>

ドナウ流域の上下水道サービス（その2） －オーストリア（AUSTRIA）－

(出典) Austria Country Note

http://sos.danubis.org/files/File/country_notes_pdf/SoS_Austria.pdf

(参考) オーストリア共和国の概要

1. 面積：約 8.4 万平方キロメートル（北海道とほぼ同じ）
2. 人口：約 850 万人
3. 首都：ウィーン（人口約 176 万人）

(出典) 外務省 HP

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/austria/data.html#section1>



1. 上下水道サービスの組織及び主体

オーストリアでは、市町村が主要な上下水道サービス提供事業者である。市町村水道事業体（municipal utilities）は総人口の70%近くに給水している。広域事業体（regional utilities）及び水道組合（water supply cooperatives）は、それぞれ住民の11%に給水しており、残りの8%は管路による自己給水（self-provision）に依存している。オーストリアの人々の24%は給水人口5千人未満の事業体によって給水されており、66%は給水人口5千人超の水道事業体によって給水されている（ÖVGW 2015）。1事業体当たりの平均給水人口は1,427人であり、ドナウ流域との比較において、オーストリアの水セクターは非常に小規模であると特徴づけられる（筆者の推計）。

[オーストリアの上下水道サービスの組織及び主体]

水サービス提供事業者数（上下水道事業者数）：5,465 事業者（2015 年、出典：ÖVGW 2015）

1 事業者あたり平均給水人口：1,395 人（2013 年、出典：筆者の推計）

サービス提供事業者の主なタイプ：地方／市町村の事業体

サービスの範囲：上水道及び／又は衛生（下水道）

所有者：地方自治体／理事会、組合

地理的な範囲：地方／広域

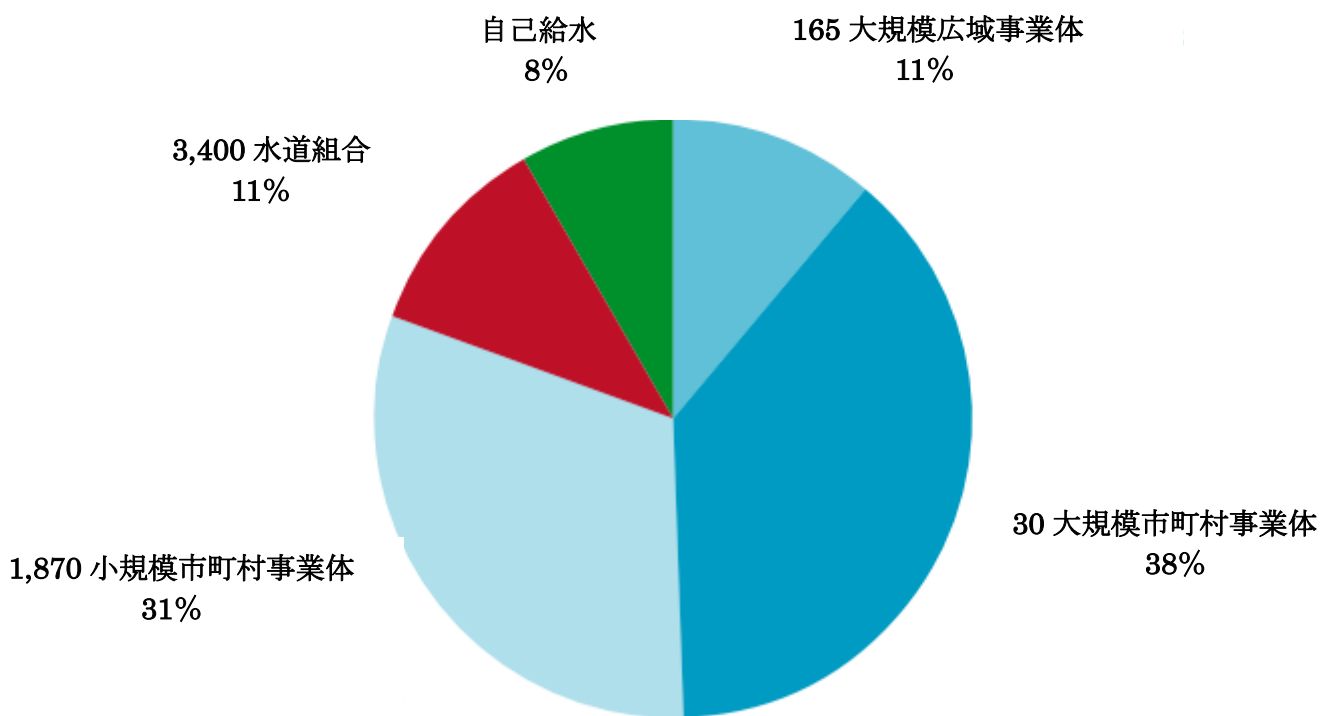
水サービスに関する法令：有

規制機関：無

全国上下水道協会：有（水道：ÖVGW、下水道：ÖWAV）

民間セクターの参入：無

図 水サービス提供事業者のタイプ及び割合



（出典）RZS 2012B

2. 上下水道インフラの現状

オーストリアの水セクターのインフラには、かなりの額の投資が行われている。約 76,700km の水道管によってオーストリアの人口に 90%以上給水がされており、給水接続数は 140 万件である。オーストリアの人々の多く（93%）は、浄水処理されていない飲料水が供給されている。下水セクターでは、約 96,200km の下水管及び 1,842 下水処理場がある（BMLFUW 2014a）。最近の数十年間、上下水道インフラにおいて、かなりの額が投資されている。現在及び将来において優先度が高いのは、長期的なアセットマネジメント政策を実行することである。

3. 上下水道サービスの業務水準

飲料水水質でみられるように、オーストリアの上下水道事業者のサービスの質は高い。飲料水水質の基準適合率は、微生物学的パラメーターが 99.8%、化学的パラメーターが 100%である (BMG 2015a)。水は、常時供給されている。家庭用機器の効率性の向上及び消費者の行動様式の変化により、1人当たり平均水消費量は、最近6か年において、1日当たり147ℓから140ℓに減少しつつある(専門家の推計)。「オーストリア飲料水報告 (BMG 2015a)」によれば、2010年において、給水人口5千人未満の事業者のうち比較的多くの事業者は硝酸態窒素又は農薬が高濃度であったことから、118件の例外的な特例 (exceptional derogations) を求め、同年、給水人口5千人超の事業者は5件の例外的な特例を求めた。これらの例外的な許可 (exceptional permissions) によって約28千人が影響を受け、そのうちの22千人は3事業者から給水された (BMG 2015a)。

[上水道サービスの質]

家庭用1人1日水消費量：140ℓ (2012年、出典：専門家の推計)

1日の給水時間：24時間 (2013年、出典：専門家の推計)

飲料水サンプルの基準適合率：99.9% (2010年、出典：BMG 2015a)

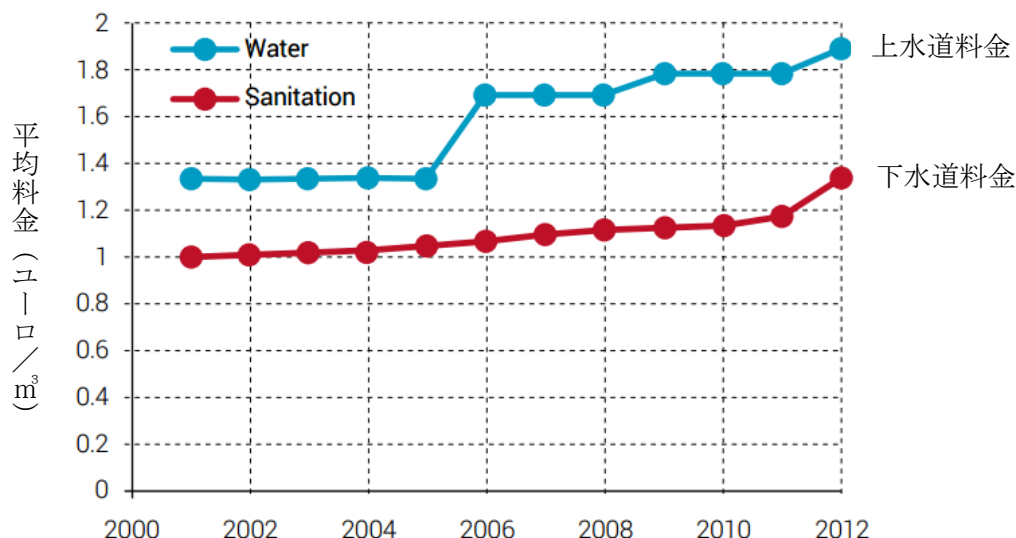
4. 上下水道サービスの効率性

オーストリアの水道事業者は概して優れている。過去数十年間に実施された全てのデータ調査において、水道メーターの数は接続件数よりも多いことが記録されており、ほとんどの事業者はメーター検針率が100%であることを示唆している。さらに、メーターは漏水及び配水ゾーンへの流入水量をモニタリングするため、送配水管にも設置されている。無収水率は比較的低く、2012年の無収水率は16%、7m³/km/日であった。

5. 上下水道料金

過去12年間における平均年間インフレ率が2.1% (Statistics Austria 2015)であった一方、過去12年間において上下水道料金は28%上昇している(専門家の推計)。平均料金は3.25ユーロ/m³であり、水道料金が58%、下水道料金が42%を占めている(専門家の推計)。しかし、上下水道料金は事業者によって異なっており、大きな差がみられる。

図 上下水道料金の推移



(出典：ÖVGW 2015)

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (公財)水道技術研究センター ホットニュース担当
E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp
TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215
また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

バックナンバー一覧 <http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h27.html>

国・地域別の水道情報 http://www.jwrc-net.or.jp/aswin/projects-activities/country_area.html

耐震化関連の情報 <http://suido-taishin.jp/hotnews.html>

水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。
なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。